



# はなみずき

成生小学校 学校だより  
令和6年10月23日 No.6  
校長 渡 邊 隆

## 体験することを通して学ぶ

学びから育ちへ、学校教育目標である「自分を信じ ともに よりよく生きる子供」の姿となるよう、2学期の学習の充実期を活用して、さまざまな取り組みを行っています。その中で、とても大切なのが「体験」です。教室で学ぶだけが学習ではありません。日々の暮らしの中で、自分をよりよく変容させていくことが育つこととつながります。「〇〇さんのアドバイスで、今までできなかったことができるようになった」「〇〇さんの様子から、悲しい気持ちがすごく伝わってきた」「みんなで話し合いを行う中で、友達の見方・考え方がわかってきたら、自分の考えだけが正しいのではなく、それぞれに理由があって、とても大切な意見だということを実感できた」など、教科などの学びで培ったことを、他の教科の学習へ、また、日々の自分の行動の変容までつなげていくことが、本当の育ちだと考えます。それが体験を通してつながっていったのであれば、強く心に刻まれ、自分にとって長く生かすことできる力となると思っています。では、これまでの子供たちの活動の様子をご紹介します。

### 宿泊体験学習

事前に行った山形ウォークラリーで、チームでまとまって活動することの大切さを実感した5年生の子供たち。今回の宿泊体験学習では、その振り返りを生かし、それぞれが目標を立てて取り組みました。その中で、自然の冒険や野外炊飯など、これまであまり経験のなかった学習に挑み、仲間と関わり方や自分自身が培ってきた力について、再確認する場となったようです。少しずつ来年度のこと考える時期になってきたので、自分たちが学校のリーダーとなるために、次にどのようなことを心がけ、力をつけていくのか、いろんなことに挑戦してほしいと思います。



宿泊体験学習で身に付いた力は、友達と協力し合いながら行動すること、常に時間を意識して行動することです。この経験を来年度の修学旅行に生かしたいです。

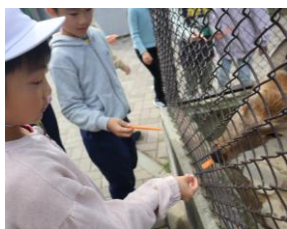


身に付いた力、協力する力、助け合う力、教え合う力です。ウォークラリーや自然の冒険、野外炊飯のときに、それぞれ取り組めたからです。



## 2年生の校外学習

10月10日(木)に、河北町の児童動物公園をかわきりに、最上川ふるさと総合公園、産業科学館、そして、山形駅から天童へ帰る、までの計画で校外学習を行いました。動物園では、動物にエサやりや触れたりするなど楽しみながら活動しました。また、産業科学館では、いろいろな機器に触れながら、科学の不思議を体感していました。電車にはじめて乗る人もいましたが、ワクワクする気持ちを抑えながら、乗車のマナーを守って到着駅まで行くことができました。たくさんの体験が思い出として残り、また、次への学習へ意欲へとつながっていくと思われます。



## 6年生バイキング給食

6年生になると天童市では、栄養について学んだことを生かしながら、自分で選んで食べていくバイキング給食を行っています。当日は、給食センターから栄養教諭の古瀬さんと調理員の方々においでいただき、栄養指導なども行ってもらいました。最初は、3つの栄養素の中に位置づけられている食材を量も含めて慎重に選びながら食べていましたが、おかわりの段階になるとそれぞれに楽しかったものをたくさんに盛り付け、食べている姿が印象的でした。



## 短距離走記録会（秋）

秋の澄み渡る空の下で、秋の短距離走記録会が行われました。当日は、たくさんの保護者の方などが参観いただく中で、子供たちは練習してきた走りを思う存分発揮していました。それぞれ達成した記録が今年の最高のものとなります。互いに競い合い、走り抜いたことが今回の成果につながっています。これからも日々の活動の中で、さまざまな力を身に付けていきます。



## 3年生の校外学習

10月17日(木)、3年生は天童市内の公共施設等見学を中心に、校外学習に出かけました。消防署や天童織田の里記念館、スーパーマーケットなどでは、これまで調べてきたことの中から、疑問に感じていたことなどを質問し、はっきりさせたり、新たな気づきが生まれたりしていました。今後は、調べたことをもとに、まとめの作業に取り組んでいきます。



スーパーマーケットや消防署の裏側での活動の様子や、様々な工夫を知ることができました。